

明神さま

宇都宮二荒山神社



- 1 | コロナ禍の終息を願って
天王祭のご報告
- 2 | 菊水祭斎行のご案内
特集“もののふ”は、なぜ
- 3 | 宇都宮二荒山神社に
詣でたのか？

- 5 | 二荒山神社発祥の「下之宮」
巫女さんにきいた
敬神の人々
- 6 | 境内案内
- 7 | 神宮大麻頒布150年
- 11 | ふたあらかわら版

祈 疫病退散



新型コロナウイルス感染症の早期終息と、
影響をお受けになられた方々の
一日も早い回復を
心よりご祈念申し上げます。

宇都宮二荒山神社

新型コロナウイルス禍の中での生活
が2年以上経ちました。

長期にわたるコロナウイルスの蔓延
で皆様の生活も影響を受け、変化
が生じたのではと思います。

また、ワクチン接種が行われてお
りますが、新たな変異株が出現する
など、長引くコロナ禍による閉塞感
と不安は未だぬぐえません。

当社におきましても、この2年間
の諸祭礼行事は縮小や中止といった
大きな影響を受けております。

しかしながら、過去の歴史の中にも
様々な困難な時があり、その時々
に工夫変化を加え形は変われども、

今日に至るまで「まつりのこころ」
が受け継がれて来ました。

現在も大変厳しい状況にはありま
すが、この社会変化を受け入れつつ
も大切な歴史を守り、豊かな祭礼
文化を将来へとつなげてゆくことが
出来るよう努めて参りたく存じま
す。

本紙面のご案内のように、菊水祭
は車両での渡御、大鳥居内での神
賑行事の斎行を予定しておりますの
で、どうぞご参拝下さい。

結びに一日も早いコロナ禍鎮静と、
氏子崇敬者のみなさまのご安寧を心
よりお祈り申し上げます。

末社・須賀神社の夏祭り、
天王祭(7月15日~17日)を執り行いました。

コロナ禍の影響により昨年度は中止となっ

た天王祭(当社末社である須賀神社の7月
の夏祭り)ですが、本年度(令和4年度)
は7月15日より3日間、石段下大鳥居内に
御神輿を奉安して、神賑奉納行事を執り行
いました。コロナ感染防止のため、神輿渡御・
親子対面は中止しました。

祭り期間中は多くの方にご参拝いただきま
した。境内には、元気でにぎやかなお囃子や
太鼓の音が、久しぶりに鳴り響きました。

また、期間中は二荒の杜ライトアップと石
段の提灯点灯を行いました。

■祭典

- 15日(金) 午前10時
出御祭並渡御中止奉告祭
- 17日(日) 午後3時
還御祭

■神輿奉安

- 15日(金)より17日(日)の3日間、石段
下大鳥居内に大型テントを設置して奉安

■奉納行事

- 15日(金)
木遣り(宇都宮鳶木遣り保存会)
- 16日(土)
お囃子(宇都宮市お囃子連合会)
- 17日(日)
和太鼓(男体雷太鼓・和太鼓楽)



石段下大鳥居内に奉安された御神輿(15日)



宇都宮市お囃子連合会によるお囃子が
祭り気分を盛り上げてくれました(16日)



男体雷太鼓・和太鼓による、
勇壮な和太鼓演奏(17日)

令和4年度 菊水祭 齋行のご案内

10月29日(土) 車両渡御 午前下町・午後上町 30日(日) 鳳輦奉安神賑行事

10月21日(金)に行われる神社の重儀、例祭(秋山祭)の付祭として、皆さまに親しまれている菊水祭。今年はコロナ対策を十分に執りながら、10月29日(土)、30日(日)に渡御、鳳輦奉安などを行います。

- 渡御は、コロナ感染の状況によっては中止とする場合があります。
- 鳳輦は車両に奉安して渡御を行います。
- 下町・上町の渡御順路は下の地図の通りです。順路は例年通りですが、各休憩所

での休憩は行いません。順路や通過予定時刻は地図をご参照ください(あくまで目安です)。

- 流鏝馬神事は中止します。
- 会所祓は中止とし、会所設置もお見合わせいただきます。
- お出迎えは渡御順路上にて、各自お出迎えをお願いします。
- 町会の行列先導・町会供奉員の奉仕は控えをお願いします。



鳳輦を車両に奉安し渡御します(令和2年の菊水祭)

●渡御日程

祭典日	時間	祭典	場所
10月29日(土) 下町・上町 車両渡御	9:00	出御祭(遷霊)	鳥居内
	9:30	車両渡御出発	下町
	11:30	昼休祭	鳥居内
	13:30	車両渡御出発	上町
10月30日(日) 鳳輦奉安 神賑行事	16:00	還御祭(遷霊)	鳥居内
	9:00	奉安祭(遷霊)	鳥居内
	午前	神賑行事	鳥居内
	午後	神賑行事	鳥居内
	16:00	遷霊祭	鳥居内

菊水祭渡御順路図



■ 午前:下町道路(下町出発9:30/下町帰還11:30)
■ 午後:上町道路(上町出発13:30/上町帰還16:00)

※通過する予定時刻は前後する場合があります

後援:一般社団法人宇都宮観光コンベンション協会

問い合わせ:二荒山神社事務所 ☎028-622-5271



歌川芳虎「文治5年源頼朝郷奥州征伐圖」(部分、東京都立中央図書館特別文庫室蔵)。
画面左中央で采配を手にし進軍を指揮するのが源頼朝

”ものものふ”は、なぜ 宇都宮二荒山神社に 詣でたのか？

山口 耕一

か？その理由を探るためには、まず宇都宮明神の主祭神と配神の関係について確認していこう。

「下毛野」のルーツ・豊城入彦命

宇都宮明神の主祭神は豊城入彦命であり、配神には大物主命と事代主命が祀られている。大物主命は大和国一宮である三



「宇都宮二荒山神社祭礼図説」(当社蔵、写真提供：橋本良立博物館)には、藤原泰衡が妻から奪って「豊剣」を授けられた場面(右)と源頼朝が戦勝祈願成就で捕虜の楯尻(後衛)のつめとしら)の一族を神社の職掌(しざし)しよう(下級の神官)とした場面(左)が描かれている。

現在(令和4年秋)、NHK大河ドラマで「鎌倉殿の13人」が放映中である。「鎌倉殿」とは、鎌倉幕府の將軍を意味し、特に源頼朝と深く結びついた言葉である。この言葉が大河ドラマをきっかけに、多くの方々に知ってもらえるようになった。

ところで、頼朝と宇都宮二荒山神社(以下、「宇都宮明神」と表記)に関わりがあることは、あまり知られていない。元暦元年(1184)年5月に頼朝が宇都宮家当主の朝綱を宇都宮明神の「社務職」(神社における事務方の長)として認めて以降、鎌倉幕府の公式歴史書である『吾妻鏡』では、頼朝は二回参詣したと記録している(文治5「1189」年)。この時、奥州平泉の藤原泰衡征伐(奥州合戦)の戦勝祈願と祈願成就のためだった。

ではなぜ、頼朝は宇都宮明神を詣でたの



藤原秀郷を描いた「田原藤太秀郷」(月岡芳年「大日本名將鑑」、東京都立中央図書館特別文庫室蔵)

輪明神・大神神社の主祭神であり、ヤマトの国と王権をつくり上げた豪族たちの主祭神でもある。事代主命は大物主命の子であり、「事（言）代」には神が神人の口を借りて託宣するという意味があるため、神託を伝える神託神でもあり、神託により国づくりをおこなうヤマト王家の守護神でもあった。『日本書紀』によれば初代天皇の神武、二代綏靖、三代安寧の各天皇の皇后はこの神の子孫とされる。

平定が命じられた。平安時代に成立したとされる「国造本紀」では、豊城入彦命四世の孫である下毛野君奈良別が、初代国造として下野国を治めたと記され、大物主命（大和国の主祭神）の命令を伝える事代主命とその命に従い東国を平定した豊城入彦命とその子孫たちという構図が記されている。

拜、戦勝を祈願し従う者たちに神威の発揚を促したことであろう。『続日本後紀』によると、承和3（833）年12月25日には、神位として正五位下を授けられてから、その後位階が上げられ、貞観11（869）年2月28日には、正二位が贈られている。これも東北平定の進展に対する朝廷側の謝意の表れと考えられる。ちなみに、この年（貞観11年）の5月26日に東北地方太平洋地震（東日本大震災）と類似する災害である貞観地震・津波が起き、東北経営の拠点である多賀城（宮城県多賀城市）は大きな被害に見舞われている。

変化を遂げた。天慶2（939）年、平将門が乱を起し朝敵となると、藤原秀郷は賊徒誅伐を祈願し宇都官明神から授かった靈剣で将門を討伐し、永承6（1051）年の前九年の役では、奥州安倍氏平定に下向した源義家が戦勝を祈願し、いずれも成就した。義家の子孫である頼朝が奥州藤原氏平定の際に戦勝を祈願したのは、秀郷や義家の故事に倣ったためである。

宇都官明神はこの配神と豊城入彦命の三柱が祀られているからこそ、『延喜式』神名帳に下野国で唯一の「名神大社」と記されたと考えられる。社伝によれば、主祭神の豊城入彦命は第十代崇神天皇皇子として、天皇から東国治定の命を受け東国に向かったと伝えられている。この豊城入彦命が、東国一の大家族である毛野氏、上毛野君、下毛野君の始祖とされ、『日本書紀』では孫の彦狭島王、その子の御諸別王にも東国

王権・朝廷に従わない東国の者たちや、さらに奥の国の「蝦夷」の者たちに対し、国家を挙げて彼らに従わせるための戦い（征討）を行うには、朝廷の命という大義名分が必要であった。平安時代に東北平定のため蝦夷地に向かった坂上田村麻呂に代表される鎮守府將軍や征夷大將軍たちは、宇都官明神の主祭神とその由緒を知り、蝦夷の住まうエリアと接するヤマト政権側最後の祈願所として宇都官明神を武神として崇

ものふたちの聖地として、このように、古代に東山道を経由し、ヤマト政権側の最後の拠点である下野国から武装した人々や物資が蝦夷地に送り込まれた。「三十八年戦争」と言われる激化した対東北戦線において、東国の者たちは戦い方を熟知した「兵」、やがて「武士」へと

「新式和歌集」（宇都官打聞：宇都宮市指定有形文化財、当社蔵）。1672年の古写本で、1833年に当社へ奉納された

「ものふ」たちの心意を現した象徴的な歌でもある。

「新式和歌集」に残された「東路や多くの蝦夷平らげて」は、まさに宇都官明神の神威を讃えた、「ものふ」たちの心意を現した象徴的な歌でもある。



「八幡太郎義家」（月岡芳年『大日本名将鑑』、東京都立中央図書館特別文庫室蔵）。後三年の後（1083～87年）で勿来関（なこそこのせき：福島県いわさき市）を通過した時に源義家が詠んだ歌を元に描いている



三十八間皇兜（さんじゅうはちもんぼしのかぶと、国認定重要美術品、当社蔵）。藤原秀郷の奉納と伝わるが、実際は南北朝時代（14世紀頃）の作と考えられる



【新式和歌集】（宇都官打聞：宇都宮市指定有形文化財、当社蔵）。1672年の古写本で、1833年に当社へ奉納された

山口 耕一
やまぐち こういち

昭和38（1963）年生まれ。奈良大学文学部史学科卒業。現在、下野市教育委員会事務局文化財課長。著書に『新・しもつけ風土記 - 展示解説図録』（随想舎）、「戦乱でみるどちぎの歴史」（共編、下野新聞社）など。

二荒山神社の発祥地「下之宮」について



江戸時代の錦絵に描かれた下之宮（当社蔵）



現在の下之宮（鳥居、社号標、本殿、拝殿）

年号(西暦)	下之宮に関する事項
崇神朝48	詔により豊城入彦命、東国平定のため当地に下る。(日本書紀・古事記)
仁徳朝	毛野国が上下の2国に分れ、命の子孫奈良別王が下野国造となる。 奈良別王、荒尾崎(下之宮の地)に祖豊城入彦命を国社として祀る。
承和 5(838)	奈良別王の子孫温左磨、大神を白ヶ峰(現在地)に遷し奉る。
元和 5(1619)	宇都宮城主本多正純、街中割替えを行い二荒山を二分し切り通しをつくる。
慶應 4(1868)	戊辰の役宇都宮城の戦いにより、本社とともに下之宮焼失
明治 5(1872)	荒尾崎に宇都宮招魂社が祀られる。
明治24(1891)	下之宮の社殿を再建する。
昭和15(1940)	招魂社が栃木県護国神社として遷座(移転)される。
昭和20(1945)	宇都宮空襲により下之宮の社殿焼失。
昭和31(1956)	宇都宮復興土地地区劃整理事業により、下之宮の土地が取換地指定となる。
昭和34(1959)	下之宮の旧地の山(荒尾崎)が取り崩される。
平成 9(1988)	相生地区再開発により、下之宮の社殿を造替する。(現在の社殿はコンクリート造り、宇都宮市まちなみ景観賞)

二荒山神社のある小高い山は、二荒山(明神山とも)といい、関東平野の北端、栃木県の県都宇都宮市の市街地のほぼ中央にあります。昔は小寺峰と白ヶ峰の二峰をもった小高い荒山でした。(現在の社殿のある場所、白ヶ峰から南方に山が続いていました)

二荒山神社は約1600年前に、小寺峰の南端の荒尾崎に祀られたのが始まりで、社記によると今から約

1200年以前の承和5年(838)に現在の白ヶ峰に遷されたと伝えられています。

江戸時代のはじめに城下の街の割替えが行われ、二荒山は二分され真ん中に道が設けられ、小寺峰は次第に削られて、その原形を失ってゆきます。

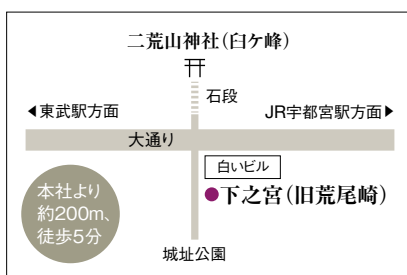
現在は平坦になり、市街地の中にあつて商業ビルなどが立ち並んでいます。

ますが、神社の発祥の地であることから、本社と特別な由緒がある社として、摂社下之宮が祀られています。宇都宮の地名は二荒山神社の別称であった「宇都宮」が起源とされています。

宇都宮の起源でもある二荒山神社。その発祥の地の摂社下之宮にもぜひ(一)参拝下さい。



昭和50年代の下之宮(例祭)



巫女さんにきいた！
二荒山神社のあれこれ

拜殿の太鼓



直径80センチの太鼓は、
昭和2年に奉納されました



「ドーン、ドーン、ドーン…」毎朝午前6時に神社の御社殿から大きな太鼓の音が鳴り響きます。
この太鼓は直径80センチの大きさで、神社のお祭りやご祈祷の際に打ち鳴らされます。
昭和2年（1927）にJ.R宇都宮駅前の川向二丁目町会有志者により奉納された太鼓で、宇都宮市の小野崎太鼓店により製作されたものです。
この太鼓は、地元バンパ通り商店街の人たちにより、「夏の天王祭とふるさと宮まつりに「太鼓神輿」として、勇壮にかつがれています。

夏の祭りには欠かせない

「太鼓神輿」



※残念ですがコロナ禍により、令和2年から3年連続で夏のお祭りは中止となりました

敬神の人々



全国にある神社はそれぞれに、地域の氏子や崇敬者の支えによりお護りされています。

二荒山神社は昔より下野国（栃木県）の一之宮、宇都宮の総氏神様として崇敬されてきました。

ふだんは神職や巫女、その他の職員により護持運営し、日々のおまつりを奉仕していますが、渡御祭礼や年間の諸行事には、地域の多くの人々にご奉仕いただくことで、伝統的な祭りや文化が守り伝えられています。

氏子

神社を中心にして上町下町の百七十五町会が氏子地区になっています。各町会には世話人があり、さらに総代が推挙され神社の諸行事に積極的なご奉仕ご協力をいただいています。

崇敬者

二荒山神社は昔より下野国（栃木県）の一之宮、宇都宮市の総氏神様として崇敬されてきました。年間を通じて県内外からの参拝がありますが、殊にお正月には約十五万人という大勢の初詣参詣があります。

敬神団体

神社には左記の講社・団体が組織され、祭礼諸行事にご参列ご協力いただいています。

- 厄難消除祈禱講
- 献灯講社
- 元日講
- 旧神領初詣講
- 初辰稲荷神社祈禱講
- 神輿保存会
- 氏子青年会
- 敬神婦人会

本社・ 主要施設

- ① 本殿
- ② 拝殿
- ③ 神門
- ④ 東回廊
- ⑤ 神楽殿
- ⑥ 手水舎
- ⑦ 西回廊
- ⑧ 授与所
- ⑨ 社務所
- ⑩ 大鳥居
- ⑪ 石段(95段)
- ⑫ 女坂
- ⑬ 西参道
- ⑭ 西鳥居
- ⑮ 明神の井
- ⑯ 東神苑歩道
- ⑰ 東神苑

境内案内

二荒山神社の境内の広さは約7千坪あり、御本社や末社の社、その他の諸施設がクス、イチヨウ、榊その他の樹木の生い茂るなかに点在しています。

街の中心部にあっても、多くの木々が繁り豊かな自然のある「二荒の杜」として貴重な環境がまもられています。

■画 北村 公司

末社

- ① 摂社下之宮(神社発祥の社)
- ② 女体宮(安産の神)
- ③ 十社
(県内延喜式内社の合祀)
- ④ 初辰稻荷神社
(豊穰・商業の神)
- ⑤ 東照宮(徳川家康公)
- ⑥ 須賀神社(お天王さん)
- ⑦ 市神社(市・商業の神)
- ⑧ 剣宮(武徳の神)
- ⑨ 十二社(肇国の神)
- ⑩ 菅原神社(学問の神)
- ⑪ 松尾神社(醸造の神)
- ⑫ 荒神社(疫病鎮めの神)
- ⑬ 水神社(水の守神)

記念碑

- ① 日露戦役碑
- ② 蒲生秀実(君平)顕彰碑
- ③ 献木記念碑(昭和天皇御降誕)
- ④ 喜佐見記念林寄附芳名碑
- ⑤ 精子の動きの撮影に成功したイチョウ記念碑
- ⑥ 奉納基金碑
- ⑦ 杉苗奉獻碑
- ⑧ 第十四師団記念碑
- ⑨ 魯庵先生記念碑
- ⑩ 文可句碑
- ⑪ 戸田忠至歌碑
- ⑫ 澁谷行雄歌碑
- ⑬ 神馬像
- ⑭ 前田雀郎句碑
- ⑮ 手塚七木句碑
- ⑯ 上野勇一歌碑
- ⑰ 筆塚
- ⑱ 針靈碑
- ⑲ 宰鳥(燕村)句碑





神棚に 今日も家族の ありがとう

神宮大麻全国頒布
百五十年記念

今年神宮大麻全国頒布一五〇周年です

「神宮大麻」は伊勢の神宮のお神札です。

この神宮大麻は神宮で奉製・祭儀が行われて、全国の神社を通じてみなさまに頒布されています。

古くは伊勢の御師と呼ばれる御祈禱師が頒布していた「御祓大麻」が

起源で、明治天皇の思召により、百五十年前の明治五（一八七二）年から神宮より頒布されるようになりました。

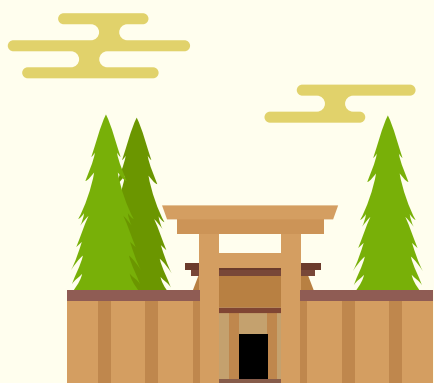
神宮大麻とともに、お住まいの地域の氏神様のお神札をおまつりして日々の平安をお祈り下さい。

◆伊勢神宮について

伊勢神宮は三重県伊勢市に鎮座し、正式には「神宮」と申します。

皇大神宮（内宮）では皇室の御祖神の天照大御神を、豊受大神宮（外宮）では産業の守り神の豊受大御神をおまつりし、時代を超えて人々から「お伊勢さま」と親しまれています。

年間、数多くの祭儀が行われていますが、代表的なのは、十月にその年実った稲穂などをお供えする神嘗祭です。また二十年に一度、社殿の建て替えなどが行われる「式年遷宮」は、千三百年にわたり続いている重要な祭儀です。



◆お神札のまつり方

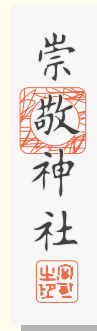
神棚には、神宮大麻（伊勢の神宮のお神札）を中心に、氏神社、崇敬神社の三体的にお神札をおまつりするのが基本です。三社造りの宮形には、中央に神宮大麻、向かって右に氏神社、左に崇敬神社の順にお神札を並べて、宮形の中に納めます。一社造りの宮形には、手前から神宮大麻、氏神社、崇敬神社の順にお神札を重ねて、宮形の中に納めます。



右
氏神社
お住まいの地域の氏社のお神札。



中央
神宮大麻
伊勢の神宮のお神札。



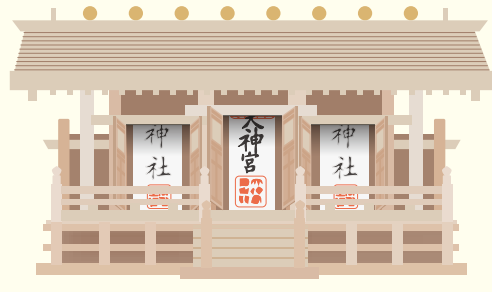
左
崇敬神社
お好きな氏社のお神札。複数ある場合は重ねましょう。



1 神宮大麻
伊勢の神宮のお神札。
2 氏神社
お住まいの地域の氏社のお神札。
3 崇敬神社
お好きな氏社のお神札。複数ある場合は重ねましょう。



重ねてまつる一社造り



並べてまつる三社造り

◆神棚Q&A

Q お神札は、ずっとおまつりしていてもいいのですか？

A 年末の大掃除では神棚もきれいにし、新しいお神札をおまつりします。新しいお神札をおまつりすることによって、神さまの御加護をいただき、迎えた新しい年も無事に過ごせることをお祈りします。今までおまつりしていた古いお神札は、一年間お守りいただいた事に感謝して、神社にお礼参りをしてお返しします。



古神札はお焚き上げされます。

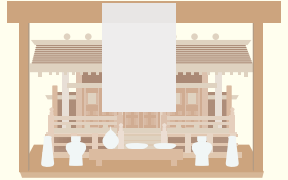
Q お神札とお守りの違いって何ですか？

A お神札は、家や会社の神棚におまつりし、一家や会社の安泰を願ってお参りすることで、神さまにお守りいただきます。一方、お守りは個人が常に身に着けることで、交通安全や学業成就といった様々な種類のご加護を受けられます。また、お神札やお守りは「買う」ものではなく、信仰の証として「受ける・授かる」ものです。



Q 身内に不幸がありました。神棚はそのままでもいいのでしょうか？

A 故人の御弔いに専念するために、普段の神棚のおまつりはいったん止めて、神棚の前に半紙を貼ります。期間は、地域によって異なりますが、一般的に五十日が過ぎたら忌明けとし、神棚のおまつりを再開します。

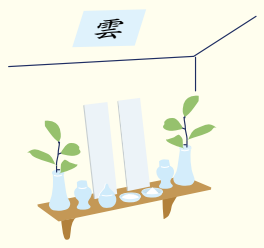


Q お神札の薄紙は、そのままでもいいのでしょうか？

A お神札を包装している薄紙は、家庭や会社でおまつりされるまでに汚れが付かないようにするために貼られています。神棚やお神札立てに納める直前に薄紙を取っておまつりしましょう。

Q 神棚の上の「雲」は、何を意味しますか？

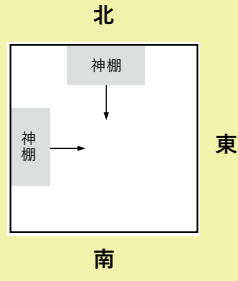
A 二階建ての家の一階に神棚を設けた場合、尊い神さまをおまつりした神棚の上を、階上の人ややむを得ず踏む場合があります。しかし、神さまに畏れ多いということから、「雲」や「天」と書いた紙を貼って、神棚より上は雲上であって、他には何もないことを意味します。



●神棚を設置する場所

神棚は家の中で家族が親しめる明るく綺麗な部屋に設けましょう。設置する場所は、天井近く目線より高い位置で、お神札の正面が南向きまたは東向きにおまつりしましょう。住宅の中で、このような場所が見当たらない場合は、家族が親しみを込めて毎日お参りできる場所を第一に考えると良いでしょう。

神棚を設ける際は、神棚と設置場所をお祓いすると、より丁寧です。お近くの氏神社にお問合せください。



ふたあらかわら版



御奉納御礼申し上げます

この度、左の方々より御奉納が有りました。
ご芳名を掲載させていただき感謝の意を表
します。

■ 拝殿紫紋幕 二張

宇都宮記念病院
会長
城守 俊章 殿
理事長
崎尾 秀彰 殿



■ 下野乙女(二季咲ぎ桜)

旧神領初詣講 講元 小堀 鏡夫 殿

■ 神代曙(桜)

■ 紫陽花 百株

北九州市 杉山 啓史 殿
宇都宮市 杉山 昌史 殿



当社御祭神についての 解説板を設置しました

拝殿前の東側に「古事記」「日本書紀」
に記されている当社の御祭神に関する
記述についての解説板『祭神豊城入彦
命と二荒山神社』を設置しています。
(読み下し文を社務所で配布しています
ので、ご希望の方は申し出ください。)



初詣は「三が日に限らず」 「混雑を避けて」お参りしましょう

新型コロナウイルス感染症対策のため、ご参拝は混雑する日
時を避け、また三が日に限らず、ご都合に応じて分散し
てのご参拝をお願いいたします。

■ 初詣参拝経路について

正面階段は、元日〜3日は登り一方通行です。
女坂、西坂、東坂が帰路になります。

■ ご祈禱について

- ご祈禱は毎日ご奉仕いたします。
- 感染対策のため、ご祈禱の昇殿人数は制限させてい
たいただきます。
- ご祈禱の郵送にも対応いたします。

■ 御神札・御守・縁起物について

御神札・御守は毎日授与しております。破魔矢な
ど縁起物の授与は12月15日(木)より行います。
混雑を避けてお受けください。

◎ 表紙について

今号の表紙の絵は、境
内にある「神馬像」をモ
デルにしたものです。

特集にあるように、鎌倉
幕府を開いた源頼朝は二
荒山神社を深く崇敬して
いた武将でした。この神
馬像は、頼朝が神馬を奉
納したという故実に基づ
いて、建てられたものです。
(イラストは当社の巫女が
担当しました)



神社の情報をこちらでも

神社ではインターネットなどでも
情報提供をしています。ご参照ください。

お問い合わせ / 社務所 ☎028-622-5271 (午前9時〜午後4時)

ホームページ <http://futaarayamajinja.jp>



宇都宮二荒山神社

検索

スマートフォンなどでもご覧いただけます。

twitter



宇都宮二荒山神社[公式]
@futaarasan